石油製品がお客様に届くまで

石油製品をつくる時から、お使いいただく時まで、 すべての工程の環境負荷低減に取り組んでいます。

産油国での原油生産をはじめ、日本への輸送、製油所での精製、そしてSS (サービスステーション)への輸送・・・すべての工程で多くのエネルギーを必要と しますが、石油製品の最大の環境負荷はお客様にご利用いただく時に発生します。 コスモ石油は、2002年度に策定した環境中期計画「ブーア(Blue Earth)21」*1 に基づき、製油所での省エネルギーをはじめ、お客様の使用時の環境負荷を低減 するために、ディーゼル車用の低硫黄軽油*2を発売するなど、石油製品をお客様 にお届けするまでのすべての工程で環境負荷低減に、積極的に取り組んでいます。

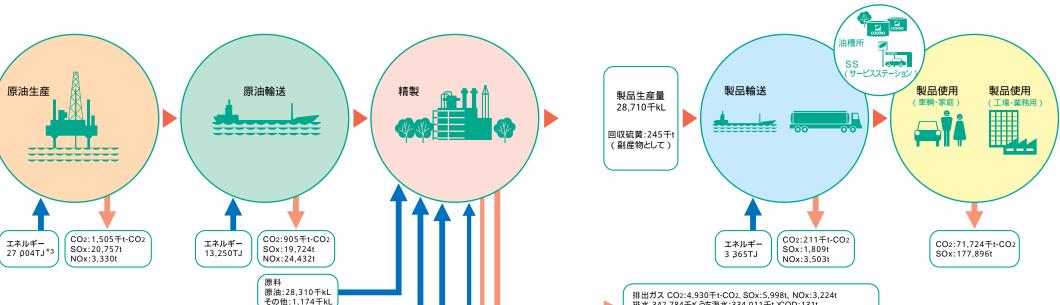
購入電力:3,119TJ(317,249千kwh)

工水:36.908千t、海水:334.011千t

石油のライフサイクルにおけるCO2の排出比率



上のグラフには、油槽所およびSSのエネルギー消費などによるCO2排出量は含まれていません。



(1,682千kL-原油)

エネルギー 自家燃料:65,191TJ

じめ製品の低硫黄化が 進んだため、生産量が 増加したにもかかわらず、 お客様使用時のSOx 排出量は前年度より低 減しました。一方、お客 様使用時のCO2排出 量は、生産量が増加し たため、前年度より増 大しました。精製時の CO2排出量は、生産量 の増大や精製高度化 のため等の増加要因 があったものの、省エ ネルギーに努めた結果、 わずかな増大にとどま りました。その結果、精 製時のCO2排出比率 は前年度比0.1%低減し、 お客様使用時のCO2 排出比率が0.1%増大 しました。

*3: TJ テラ・ジュール (1012ジュール)

*1: 15ページを参照。

*2: 9ページを参照。

排水 342,784千t(うち海水:334,011千t)COD:131t 廃棄物 発生量:41,959t、再資源化量:10,876t、最終処分量:1,423t PRTR対象物質 排出量:77t、移動量:276t

11